

発展を目指す企業家のための経営指南役

No. 463

平成20年 4月7日(月曜日)

# 社 外 重 役

Selected Clients &amp; Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド  
 東京本社)東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル5F  
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439  
 大阪支社)大阪市北区堂島2-1-31 ORIX堂島ビル5F  
 Tel.06-4799-2004 Fax.06-4799-0539

マーケティング

## アイデアあれこれ多彩なサービス 女性の晩婚化が母娘消費を後押し

母と娘が一緒に買物や食事などをする母娘消費市場に最近変化が表れている。従来からの洋服や靴といったモノ消費に加え、これらに豪華食事とエステ、旅行などのサービスを組み合わせた高額商品が拡大しつつある。女性の未婚率上昇が背景にあるとみられる。

東京都内のホテルが始めた「ビューティ&ヘルシー」は、日帰りでエステと食事が楽しめるサービスで、利用者の3割を母娘が占める。別のホテルにおいても美と癒しと豪華食事の宿泊セット商品(2人で4万6,000円)が人気で06年度は800組もの利用があった。旅行会社の女性限定プランには母娘の参加者向けにワインの試飲など特典があり、利用者の3割は母娘という。

都内にあるメーキャップ&フォトスタジオでは女性のアンチエイジング(抗加齢)の心理を巧みにとらえた変身フォトの新商品。母娘が好みの髪形やメイクなどをして記念撮影するもので、月平均20-30組が利用する。化粧品販売でも無料のメイクサービスが母娘に好評で、素顔を気にせず商品を選べる点が受けている。従来からのモノ販売でも、母娘に合う幅広い年齢層の商品群を揃えたフランスのアパレルブランドが、都内で店舗数を増やしている。

このように、母娘消費をターゲットにした多彩なサービスが各社より生み出されている。それが母娘の情愛を深める架け橋にもなっており、幸福商品ともいえるであろう。

税務会計

## e-Taxの利用が300万件突破 所得税申告は3倍増の150万件利用

国税庁はこのほど、2007年度における国税電子申告・納税システム(e-Tax)の利用件数が、年度末の1ヵ月を残して昨年4月から今年2月末までで328万2,413件と300万件の大台を突破したことを明らかにした。

その内訳をみると、「申告」が264万199件、「法定調書」が57万3,550件、「申請・届出等」が6万8,664件となっており、前年度に比べ、全て3倍前後伸びている。

「申告」手続きの内訳は、(1)所得税が150万999件、(2)法人税が47万9,679件、(3)消費税(個人)が6万4,866件、(4)消費税(法人)が53万8,245件、(5)酒税が3万1,395件、(6)印紙税が2万5,015件となっている。

所得税は前年度(49万584件)から3倍程度伸びており、2007年度はまだ1ヵ月あることからさらなる伸びが見込まれる。また、法人税と消費税(法人)も5倍近い伸びを示している。

このようにe-Taxの利用件数が大幅に伸びた要因は、所得税額の5,000円特別税額控除制度の導入や、医療費の領収書や源泉徴収票等の第三者作成書類の添付省略、還付日数の短縮、国税庁HPでの「確定申告書等作成コーナー」からの直接送信のほか、2007年分確定申告から税務署などの申告会場で本人確認を行えばその場でe-Tax申告ができる「来署型電子申告」が導入されたことなど、国税当局による様々なe-Tax利用促進策が図られたことにあるとみられている。

今週のキーワード

女性の未婚率

05年の総務省・国勢調査によると、20代後半の女性の未婚率は90年と比較して40%から59%へ、30代前半も13%から32%へと急上昇している。女性の社会進出、男女雇用平等、高学歴化、賃金上昇、労働の多様化などから結婚年齢が高くなって未婚率が上昇し、少子化を生む。娘は安全と経費を考え親と同居し、可処分所得(小遣い)が増え独身を楽しむ。団塊世代の母親の行動を娘がリードし、母は娘をアンテナ代わりにする相互補助が、一緒に消費する機会を増やしている。